

# 議会だより

2004  
9



## 京都府消防操法大会

丹波町須知の丹波自然運動公園にて

左：きびきびとした操法を見せる福知山市代表の庵我分団

下：気持を引締めて競技に臨む操法要員



## 6月定例市議会の概要

6月定例市議会は6月30日から7月22日までの23日間にわたって開催された。この議会には、「平成16年度一般会計補正予算」など4議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。また教育委員の候補者1名の任命、公平委員の候補者2名の選任及び助役の候補者1名の選任について同意をした。さらに議員派遣について議決するとともに、請願については2件提出があり、そのうち1件を採択し、「地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書」と「中山間地域等直接支払制度の継続・充実に関する意見書」を可決し、関係機関に送付した。

### ◆平成16年度補正予算

一般会計では、前市長・前助役の退職手当9,373万円ほか総額1億2,233万円を補正し、補正後の総額を264億9,723万円とした。また、老人保健医療事業特別会計では、過年度分の支払基金交付金・府支出金返還金584万2千円を追加し、補正後の総額を60億2,644万6千円とした。

### ◆条例

福知山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正を行った。

### ◆専決処分の承認

●6月20日執行の市長選挙に係る経費3,500万円の補正予算。

### ◆報告

●平成15年度予算繰越計算書について

### ◆人事議案

●教育委員  
藤林 稔 氏 (談、71歳、再任)

●公平委員  
芦田 禮一氏 (八幡市、75歳、再任)  
四方 美津子氏 (東野町、56歳、新任)

●助役  
山段 誠 氏 (下新、57歳、新任)

### ◆国へ提出した意見書

●地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書  
●中山間地域等直接支払制度の継続・充実に関する意見書

### ◆議員派遣

●第21回日本非核宣言自治体協議会総会及び第19回非核宣言自治体全国大会

▼派遣場所 長崎県長崎市

▼派遣期間 7月30・31日

▼派遣議員 福島慶太議員、審良和夫議員、杉山金三議員、竹下一正議員

6月 定例会

# 一般質問

## 公明党議員団

小野 喜年 今次 淳一



### 児童手当の拡充について

**問** 児童手当の支給対象年齢が就学前から小学3年生まで拡充された。1年生は継続だが、2・3年生は扶養者から申請がないと支給されないの、申請もれがある方には連絡を。

**答** 今回から新たに対象となる2・3年生の扶養者に、案内と申請書を届けるなど、周知に努めている。(福祉・管理課)

### 成人式について

**問** 新成人が式典の企画段階から参加することへのアンケートは。

**答** その考えはない。今後とも若者のニーズを考え、アトラクションを考えていきたい。(教委・生涯学習課)

### 法定外公共物の譲与について

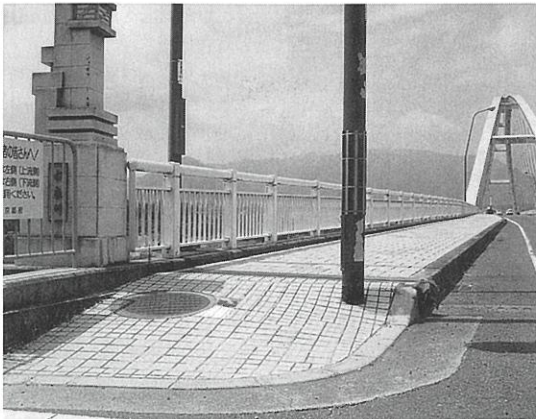
**問** 平成17年に里道・水路が譲与されるが、ゴミの投棄や取壊しなどの規制のために条例の制定が必要ではないか。

### 音無瀬橋歩道について

**問** 対岸住民の生活路との認識を持つために通行者数の調査を。

**答** 重要な通路として認識しているが調査は考えていない。

**問** 歩道乗入れ部分のスロープは急で危険である。京都府に改修の要望してほしい。



歩道乗入れ部分が急で狭くなっている音無瀬橋

**答** 維持管理、占用条件、占用料などの条例を定める必要がある。(建設・土木課)

### 子どもの読書活動推進について

**問** 本市の「子どもの読書推進計画」の策定は。

**答** 平成16年度に計画策定の準備を行い、17年度に委員会を立ち上げ、策定の作業に入りたい。(教委・図書館)

### 学校図書館の整備状況は。

**問** 学校図書館の整備状況は。

**答** 昨年度は、小学校で5万9,959冊、1人あたり14.4冊、中学校は2万3,710冊で、1人あたり11.7冊の蔵書数。年々増加している。(教委・学校教育課)

### 移動図書館車「新うぐいす号」が巡回しない小・中学校に、新たに何校か考えは。

**問** 移動図書館車「新うぐいす号」が巡回しない小・中学校に、新たに何校か考えは。

**答** 1台の「新うぐいす号」ですべて対応するのは不可能。将来、地域が広がる可能性もあるため、1台で対応できない時代がくる。学校図書を増やすしかない。

### 「北近畿の都」のシンボルとなる図書館の早期建設を。

**問** 「北近畿の都」のシンボルとなる図書館の早期建設を。

**答** 21世紀の新時代を切り開く、心豊かでたくましく、創造力豊かな人間を育成するために、新図書館の必要性は非常に高い。複合施設構想の中で考えていきたい。(教委・図書館)

## 自民クラブ

和田 久 永田 時夫

### 新市長の政治姿勢について

**問** 健全財政確立に向けての事業予算の配分と財政運営についての考えは。

**答** 健全財政の堅持を第一として行財政運営に努力している。補助金は昨年から一律5%の削減を実施し、各種団体にもご理解を得ている。今後とも歳出全般にわたる見直しや抑制などに努めていく。(総務・財政課)

### 各種審査委員の兼任について

**問** 地方自治法に定める各種委員会、審査会などの兼務について、登用の際は兼任を見据えた人事をしているのか。

**答** 中には特定の方や高い見識を有する方に委員が重なることがある。次世代育成懇話会、環境会議などは市民から公募し、新しい委員会構成で進めている。

### 1人8役以上兼任している委員が2人いる。どちらも福知山市の入札納入業者であり問題だ。

**問** 1人8役以上兼任している委員が2人いる。どちらも福知山市の入札納入業者であり問題だ。

**答** 委員会の内容によっては代えがたい人もいるが、委員会の活性化の観点から幅広い人にお願し、適材適所の人選を検討したい。(総務・職員課)



公害防止協定の見直しが求められている長田野工業団地

福知山市社会福祉協議会について

会長職人事と天下り人事の矛盾を指摘する声が役員から上っているが、市民への説明は。

会長人事は指摘を受けて、再度役員会を開き、十分な説明により了承を得た。天下りの件は、正規の評議員会で理事に選任されたもので、市の任命によるものでないので、天下りとは理解していない。

(福祉・管理課)

下六人部地区整備計画について

広報ふくちやまで、工業団地の年間出荷額が2,021億円を超えたと賞賛されているが、30年間下六人部地区は公害で犠牲になっている。地元から強く公害防止協定の見直しを求められているが。

協定に基づいて公害測定結果の提出を受けている。粉塵、異臭問題も保健所と連絡をとりながら継続した監視、指導を行っていく。

(企画環境・環境推進室)

新政会

- 田淵 弘 杉山 金三
- 塩見 仁 審良 和夫
- 井上 重典 福島 慶太
- 松本 良彦

高日市長の市政運営方針について

今回の1市3町の合併に対する基本的な考え方は。

昭和の大会併から50年が経過した。1市3町には、それぞれの色があるので、それを大切にしながら「ひと・もろ・情報」が集まる百年計画のまちづくりを考えていかなければならない。

(企画環境・企画推進課)

商工業の健全な発展について

どのような形で商業の健全な発展を支援するのか。

地域の創意工夫を生かしながら市街地の商業基盤の整備を進めなければならない。駅周辺整備事業と相まった商業の活性化をはかっていきたい。最後のチャンスととらえ、商店街の人たちと中心市街地懇話会をつくり、生の声を聞きながら真剣に議論したい。

大型店出店問題についての考え方は。

国土交通省と公安委員会が十分協議される中で、市として地域住民の安全を優先して検討しなければならぬ。交通問題では、国道9号が4車線に

ならないと出店は難しい状況だ。長田野工業団地の物流に与える影響も否定できない。また、本市の既存商業に与える影響は、大きい。

(経済・商工業観光課)

行政サービスの民間委託について

日本経済新聞社の調査で、本市は民間委託度では43位にランキングされたが、その評価は。

本市が民間委託に取組んできた成果である。今後は、庁舎内部においても、できるものは積極的に取組んでいきたい。

(企画環境・企画推進課)

中心市街地の街路整備について

中心市街地の道路は、パツチワーク状になっている箇所がたくさんあるが、改良計画は。

中心市街地は、水道管等が古くなっている箇所が多い。更新時に他の配管等と共同施工して改良したい。

(建設・土木課)

惇明小学校とその周辺について

道路拡幅に伴い、惇明小学校本館前の庭園が削られるが、景観整備はどうするのか。

惇明小学校本館は、登録文化財であり、本市にとってもシンボリックな存在である。学校・周辺自治会・PTA・同窓会などと検討委員会を設けて景観整備について協議をしたい。

(建設・都市計画課)

下豊富地区(5区)連絡協議会地内における多目的施設について

永年にわたる地元要望に対する建設予定は。

平成3年に請願の採択もされており、アクセス道としての三ツ石道も完成させた。今後、請願採択の趣旨に添うべく、地元住民と十分に協議し、検討を進めていく。

(企画環境・企画推進課)

中丹家畜保健衛生所の移転について

移転と事業の概要は。

半田地内に造成中であり、DN A鑑定等高度機能をもつ施設であると聞いている。

(経済・農村整備課)

移転に伴う通学路に対する対応は。

交通量の増加を見据え、信号機の設置に向けて準備中であると聞いている。

(市民人権・生活交通課)

国道420号改修について

榎トンネルを含む全面改修の考え方は。

国・府に対し、これまで以上に積極的に要望し、早期に着手できるように努力する。

(建設・管理課)

地方分権時代の市政のあり方は

**問** 市政運営の基本と自治基本条例制定についての考え方は。

**答** 市民の目線に立って、公正で開かれた市政運営にあたっていきたい。また、自治基本条例は、各自治体の制定状況や条例内容などの情報収集を行い、今後、研究していきたい。

(総務・総務課)

学校と地域の連携、協力について

**問** 学校評議員制度の成果と評価は。

**答** 成果は、学校と地域との信頼関係を築き、学校運営の参考にさせていただいた。課題は、地域などに学校運営の情報を提供し、説明責任を果たすことである。

(教委・学校教育課)

西中筋西部地域振興計画について

**問** 由良川改修及び西中筋地区ほ場整備の今後の見通しについてはどうか。

**答** 由良川改修に向け、関係者の協力を得ながら鋭意努力している。移転先の宅地造成については、平成17年度に分譲が開始できるよう整備を進めている。ほ場整備事業は、平成21年度に事業の完成をめざしている。

(経済・西中筋整備課)

石原土地区画整理事業について

**問** 進捗状況と今後の見通しは。

**答** 平成15年度末での事業進捗率は約80%で、平成18年度工事完成、平成20年度事業完了をめざしている。

(建設・都市計画課)

市街化調整区域内の開発許可は

**問** 京都府条例の見直し後の本市の対応は。

**答** 建設部・経済部を中心に土地利用計画（マスタープラン）と併せて基本調査を進めている。また、さらなる地域振興やまちづくりの観点から、京都府開発審査会付議基準の見直し、拡大が予定されており、関係する自治会との連携をはかっていきたい。

(建設・管理課)

住所表示と郵便番号について

**問** 郵便番号に合わせた、わかりやすい住所（自治会名）表示とす考えは。

**答** 歴史的な地名がなくなるという問題点や登記簿、戸籍簿などの権利関係も絡んで変更は難しい。また、莫大な費用と時間が必要で、全市的に見て困難である。

(企画環境・企画推進課)

福政会

芦田 廣	和泉すゑ子
野田 勝康	武田 義久
芦田 弘夫	竹下 一正

高日新市政の抱負について

**問** 光ファイバーなど高速情報網整備備についての考えは。

**答** これからの時代は高速情報網整備が不可欠だ。慎重に準備を整え、遠くない時期に実現しなければならない。時期については今は明言できない。

**問** 携帯電話の通話不能地域の解消に市は全力を。

**答** 上豊富、三岳、金谷、下川口などに不能地域があり、防災上も問題がある。しっかりと対応していきたい。

(企画環境・企画推進課)

市町村合併について

**問** 合併すればどうしても周辺部は不便になり、過疎化が危惧される。3町の立場、見方、考え方にも耳を傾けねばならないのでは。

**答** その点は重要課題だ。支所機能等を軸に充分配慮する。

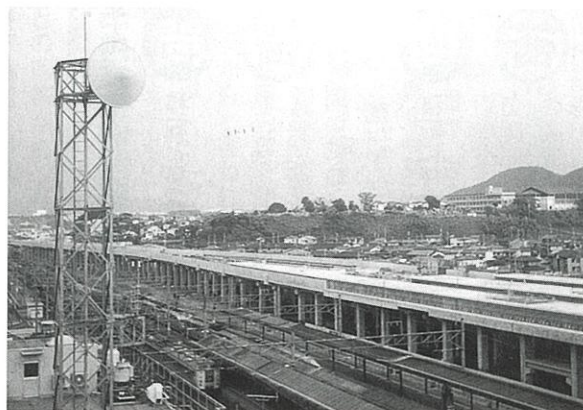
(企画環境・企画推進課)

北近畿の都構想の中での諸課題

**問** 連続立体交差事業や駅周辺整備事業を完成させるとともに、JR支社の存続と支援についての考えは。

**答** 支社の存続は、市へ多大な経済効果がある重要テーマだ。支援策については、鉄道利用増進協議会を設置し、利用増に努めている。福知山駅からの乗車増に市民の協力をお願いしたい。

(市民人権・生活交通課)



JR支社存続の基盤と北近畿の都の玄関となる連続立体交差事業

**問** 山陰地方は高速道も新幹線の構想もない。いろいろな面で遅れをとっている山陰に活気をもたらし、北近畿の都づくりに寄与する新幹線構想を。

**答** 鳥取県を中心に取組んでおられるが、財政上実現は難しい。

(企画環境・企画推進課)

国道429号の早期改修促進を

青垣・播但・山陽方面への交通、経済交流発展のために複トンネルの早期実現を。

重要性は自覚しており馬力をかけて陳情している。  
(建設・管理課)

助役の2人制について

1市3町の合併を機に助役2人体制で市政運営の考えは。

部長制を活用して市政の推進に努めていく。財政状況も厳しい中で人件費の抑制をはかる必要がある。  
(企画環境・秘書広報課)

基金の管理と運用について

平成17年4月のペイオフ解禁を控え、基金等の安全かつ有利な運用管理についての対応は。

公金管理検討委員会において金融機関の経営状況を把握し、安全かつ効率的な運用管理に努めている。  
(会計課)

広報ふくちやまお知らせについて

本年2月から発行して5か月になるが、その成果と課題は。

自治会長からも高い評価を得ている。市民から苦情などは聞いていない。各戸配布、回覧文書について本年4月～6月の発行件数を昨年同期と比較すると、本年17件、昨年57件で70%減少している。  
(企画環境・秘書広報課)

平成会

有 幸男 加藤 弘道  
立道 正規

周辺地域の課題について

京都府内の24森林組合が平成18年に5つの組合に移行し、将来は、府内1組合を視野に入れた合併再編が考えられているようだが、市長の意見は。

各ブロックで協議会を設置されると聞いており、推移を見守りたい。経営上は、合併したほうが良いと思うが、合併後に組合への関心が薄れる不安もあると思われる。

林道・作業道の雪害による倒木に対しての作業補助は。

倒木は個人の所有なので、補助対象外である。  
(経済・農林課)

三岳小学校・川口中学校グラウンドの排水対策を切望しているかどうか。

川口中学校は、グラウンドを含め、敷地全体の雨水排水対策を行った。三岳小学校については、抜本的な排水対策を考えないといけない。  
(教委・管理課)

瘤木・一尾・下天津地域の下水道工事の着工見通しは。

公共下水道事業として取組むため、京都府に事業計画の変更認可申請書を提出し、近く承認されるものと思うが、今年度からすぐに工事にかかることにはならない。しかし、基本詳細設計には着手したい。  
(下水道・事業課)

住民生活に欠くことのできない現行バス路線の運行継続については、議会としても要望を提出し、京都府へも支援をお願いしているところだが、市としての見解は。

市としては、生活路線の存続を重要視し、関係機関に強く要望している。何としても住民の生活手段を守っていくことを考えなくてはならない。  
(市民人権・生活交通課)

高齢化する自治体に人口増加策を考えていき、それに伴う消費活動は、地域活動経済に大きな影響を与えるものと思うが、本市も行刑施設(刑務所等)誘致の考えはないのか。

現在は未検討であり、積極的な誘致は考えていない。  
(企画環境・企画推進課)

日本共産党市会議員団

仲林 清貴 渡辺 麻子  
足立 進

市民の暮らしの実態と負担軽減

長引く不況で市民の暮らしは大変、国保料や介護保険利用料、保育料や住宅家賃、教育費の負担軽減をさらに進める考えは。

市民の暮らしは非常に厳しい状況と思うが、これ以上の負担軽減はできない。  
(企画環境・秘書広報課)

新年度から制度化した国保の医療機関での3割負担軽減の周知があまりできていないようだが、その対応は。

啓発につとめたい。  
(市民人権・保険課)

合併問題への対応は

懸案になっている問題への見解は。

議員定数は、定数特例で32名が妥当と思う。子どもの医療費や保育料は、今の提案で確認を願いたい。大江病院は、公営で引き継ぐことはありえない。民営にするのであれば、合併のスタートまでに考えている。  
(企画環境・企画推進課)

放課後の安全対策

障害がある子どもが、放課後に事故で尊い命を失った。昭和47年にも同様の事故があり、相当期間が経過しているにもかかわらず、放課後対策は不十分だ。本格的な協議をすべきだが見解は。

福祉部と教育委員会が連携して取組んでいく。次世代育成計画の作成に向けて取組んだアンケートの整理を行い、7月の懇話会で報告し、放課後対策を進めたい。  
(教委・生涯学習課、福祉・管理課)

### 少人数学級について

**問** 国や京都府が少人数学級を容認する方向を打ち出したが、本市の状況は。また、一方で35人以上のクラスはどの程度あるのか。さらに、今後の方向は。

**答** 本年度、少人数学級になったのは小学校で3校4学年、中学校で2校2学年。35人以上のクラスは、7小学校で21学級、4中学校で21学級。あくまでも学校に配置されている教員の定数の範囲内で取組む。

(教委・学校教育課)

### 住宅改修助成制度の実現を

**問** 市もその有効性を認めている住宅改修助成制度は、いつ実施するのか。

**答** 近い議会に提案する。

(経済・商工業観光課)

### 地産地消の充実を

**問** 新年度から学校給食に地元産の野菜が活用されているが、野菜などの活用をさらに進めるべきだが見解は。

**答** 現在15品目の野菜を全体の22%に活用している。今後も地元産の野菜を活用した献立を考え、頑張っ

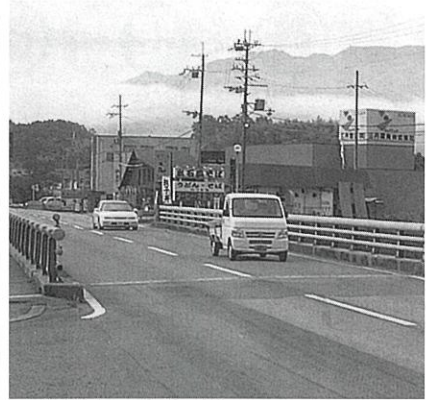
(教委・学校教育課)

### 国道9号の安全対策

**問** 岩井地内の追越禁止でない区間は交通事故も多く、安全対策のために追越禁止にすべきではないか。市の見解は。

**答** 地元と協議し、交通対策協議会として京都府に要請する。

(市民人権・生活交通課)



追越禁止の対応が待たれる岩井地内 国道9号

## 政 政 会

吉見 光則 大西 敏博

### 合併ユウジン

**問** 合併の必要性について。

**答** 地方分権の流れの中で、1市3町が発展していくためには、長期的な展望の中で再構築を考えて行かなければならない。この地域の美しい緑を生かし、市民に満足してもらえる市を形成していく必要がある。

**問** 合併後の財政について。

**答** 合併後10年の間で職員の削減が必要となる。計画的に削減し、簡素な組織をつくる。また、民間委託の促進をはかり、経費の削減をしていく。

**問** 大型事業への特例債活用の考えは。

**答** 高速情報網化事業は、1市3町の形でやっていくことであり、特例債の活用を考えている。新市図書館の建設も、相談しながら考えたい。

(企画環境・企画推進課)

### 年金問題について

**問** 年金未加入問題と今後の生活保護への影響について。

**答** 加入促進と納付率向上については、新制度をPRし、社会保険事務所と連携し努力していく。

(市民人権・市民課)

### 安全・安心なまちづくりについて

**問** 子どもの安全について。

**答** 各校区・地域ごとに取組みを進めてもらっている。自分たちの力で何とか子どもを守ってやろうと、自発的に行っていただいている。この広がりが最も望ましいことと思っている。

**問** 情報化社会における心の教育について。

**答** 子どもに対しての情報化に対応できるモラルの教育が、現在の情報化社会の進歩についていけないという心配がある。また、携帯電話についても、大きな問題である。情報化の進歩と子どもの心の比重は、学校社会を超えたものがあるということ、大人社会でもわかってもらわなければならない。

(教委・学校教育課)

### 駅付近連続立体交差事業について

**問** ワークショップの成果について。

**答** イメージは、にぎわい・自然・交流といった福知山らしさを感じられる駅前広場や公園の整備をはかっていたい。

(建設・駅周辺整備室)

## 無 会 派

荒川 浩司

### 先の市長選挙におけるごきげん

**問** 5月20日頃、ある陣営の選挙事務局長が、市の秘書広報課に来て6月18日の厚生会館の仮押えを職員にさせたいと聞いている。また、6月8日には、他の陣営が厚生会館の空き状況を調べ、秘書広報課が仮押えしていると聞き、電話で使用内容を聞いたところ、企画環境部長かもと言われたので、担当部長に代わってほしいとお願いすると、後で電話連絡しますとのことであった。数時間後、その陣営に電話があり、「先程の話は、市は関知していないことにしてください。」との返答があった。同日、厚生会館に先の陣営から男性2人が来られ、「18日の仮押えの申込みに来ました。」と言われたそうである。以上の内容に対する市の見解は。また、選挙違反ではないのか。

**答** 厚生会館の使用状況を電話で問合せたと聞いている。このことをもって選挙違反にならないと考えている。

(企画環境・秘書広報課、選挙管理委員会)

## 総務委員会審査報告

当委員会に付託された議第7号平成16年度一般会計補正予算など3議案について審査を行った。

歳入では、財源の求め方について質疑があり、前市長、助役の退職金は確定した前年度繰越金を充当し、市長選挙費は、繰越金が確定していなかったため、特別交付税で対応したとの答弁であった。

歳出については、退職金の積算基礎となる年数、割合などの具体的な数値について質疑があり、前市長は在職期間13年10か月、前助役は在職期間10年で、条例規定に基づくそれぞれの個別の数値や、府下11市の割合、順位等について詳細な説明があった。

議第9号は、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、本市の非常勤消防団員の処遇改善をはかるため、退職報償金を引き上げるものである。

議第10号、市長選挙費に係る専決処分は、特別交付税を選挙費に充当し補正支出するものである。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、議第7号は賛成多数、議第9号、議第10号は全員賛成で原案のとおり可決承認された。

## 市民厚生委員会審査報告

当委員会に付託された議第7号の一般会計補正予算及び議第8号の老人保健医療事業特別会計補正予算について、慎重に審査を行った。

まず、南佳屋野人権ふれあいセンターでの太鼓購入に関しての質疑では、指導者は宮津市や夜久野町、そして近隣の指導者をお願いする予定で、月1回程度の練習を実費で考えている。年齢層としては小学生・中学生・高校生のほか、大人は指導者的な立場で募集したいと考えているという答弁であった。

次に、鉄道利用増進のためのポイントカードについては、鉄道利用者の伸びがJR福知山支社の存続の重要な課題であり、鉄道利用増進協議会の総会で提案があったものである。特急往復切符を買うとスタンプを押してもらい、1枚5ポイントたまる500円のクーポン券を進呈し、次のカードを発行させてもらうようになっている。クーポン券は来年の1月31日まで4,000枚を発行予定である。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、付託された議第7号及び議第8号は、いずれも全員賛成で原案可決された。

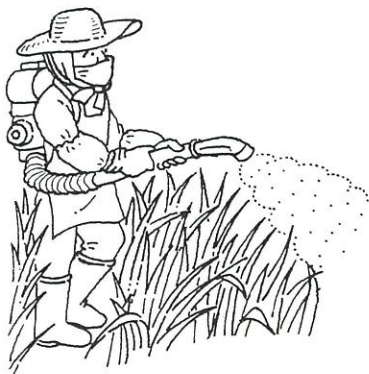
## 経済委員会審査報告

当委員会に付託された「中山間地域等直接支払制度の継続・充実に関する請願」について慎重に審査を行った。

同制度は、耕作放棄地の増加が懸念されている中山間地域において、平成12年度に創設されて以来、多面的及び集落機能の維持をはかるうえで、大きな役割を果たしてきたが、平成16年度がその最終年度となっている。

しかし、今後の農地保全と集落機能の維持、発展のためにも、本制度の継続はもとより、対象農地の指定基準の見直しを含めた現行制度のより一層の充実を求めたいとの意見が多く出された。

については本委員会は、請願の願意を了承し、全員一致で議会の会議に付して採択すべきものと可決した。



## 文教建設委員会審査報告

当委員会に付託された議第7号、平成16年度一般会計補正予算（第2号）について慎重に審査を行った。

補正の理由は、平成16年度コミユニティ助成事業の採択を受け、猪崎の川東公園に公園利用者の利便向上をはかるため総合遊具一基の設置を行うものである。今回設置の総合遊具とはどのようなものかとの質疑に対し、別名をコンビネーション遊具というもので、設置を検討しているものは、縦7m、横4・4m、高さ4・4mの大きさで、滑り台、円形筒、のぼり棒など、1つの遊具の中に複数の遊びの要素を取入れたものである。

さらに、他の公園遊具の設置、更新計画については、遊具の老朽化の程度や市による定期点検などの結果を受け、地元の要望状況と併せて検討する。コンビネーション遊具の設置については、新たに開設される公園や危険で老朽化した遊具の撤去などにより、遊具の数が足らなくなった公園を中心に設置を検討していくとの説明を受けた。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決された。

# お知らせ

## 一般質問における答弁関係部課の表示について

市民の方から答弁内容についての質問等がある場合に、いずれの部課に問合せたらいいかわからな  
いとのご意見がありましたので、今回号から答弁内  
容に関する部課を各答弁の末尾に（ ）で表記  
することとしました。

なお、同一部課が連続して答弁を行った場合は、最  
後の答弁の末尾に表記しております。

表記例：○○○・○○○課（室、局）

部名表記例	企画環境部	企画環境部	消防防本部
総務部	建設部	下水道部	下水道部
教育委員会	病院事務部	市民病院事務部	

## 請願（6月定例会上程分）の審査結果

### ■採択したもの

- ◆中山間地域等直接支払制度の継続・充実に関する請願  
(請願者 奥村 寛 他5名)

### ■継続審査となったもの

- ◆郵政事業の経営形態に関する請願  
請願者  
福知山郵便局利用者の会  
会長 西田 豊  
福知山簡易保険加入者の会  
会長 芦田圭史  
福知山郵便貯金利用者の会  
会長 奥田省三

## 6月定例会で提出した意見書

### ■地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現を求める意見書

平成16年7月22日付

衆議院議長・参議院議長  
内閣総理大臣・内閣官房長官  
経済財政政策担当大臣・総務大臣  
経済産業大臣・文部科学大臣  
厚生労働大臣・農林水産大臣  
宛

### ■中山間地域等直接支払制度の継続・充実に関する意見書

平成16年7月22日付

衆議院議長・参議院議長  
内閣総理大臣・財務大臣  
農林水産大臣  
京都府知事  
宛

## 議会日誌 6月～8月



1日	由良川沿川市町議会関係委員会正副委員長会、議会だより編集委員会
3日	由良川改修促進特別委員会
4日	京都府市議会議長会（京都市）
7日	京都府北部四市議会連絡協議会（宮津市）
23日	議会運営委員会
24日	各派幹事会
30日	6月定例会本会議（開会）
7月	広域行政圏市議会協議会監事会議、同正副会長・監事相談役会議
6日	6月定例会本会議
12日	6月定例会本会議
13日	6月定例会本会議
15日	6月定例会本会議、各派幹事会
16日	総務・市民厚生・文教建設各委員会、経済委員協議会
22日	各派幹事会
28日	6月定例会本会議（採決）、議会だより編集委員会
30日	近畿市議会議長会事務局職員研修会（橿原市）
31日	第21回日本非核宣言自治体協議会総会及び第19回非核宣言自治体全国大会（長崎市）、全国市議会議長国会対策委員会（東京）
2日	基地協議会近畿部会事務局長会（新大阪）
3日	松本市議会行政視察来市
4日	京都府北部五市議会連絡協議会（福知山市）
5日	由良川改修促進特別委員会要望活動（京都府・国交省近畿地方整備局）
6日	議会運営委員会、議会だより編集委員会
9日	市町村合併特別委員会、全議員協議会
10日	京都府北部五市局長次長会（綾部市）
17日	京都府市議会議長会臨時事務局長会（京都市）
17日	議会だより編集委員会
23日	総務委員協議会
24日	議会運営委員会行政視察（七尾市・珠洲市）
25日	由良川沿川市町議会関係委員会正副委員長会要望活動（国交省近畿地方整備局・本省）
26日	由良川沿川市町議会関係委員会正副委員長会要望活動（国交省近畿地方整備局・本省）
27日	局・本省

## 編集後記

中村稔前市長が任期途中で退任され、新しく高日音彦新市長を迎えて6月定例会市議会が開催されました。この議会では、新市長の政治姿勢と21世紀の重要課題である環境・福祉・人権について、さらには、大きな問題である合併について、市民の代弁者として15名の議員が質問を行いました。

行政と議会は車の両輪であり、活力と気力と情熱をもって、市民の目線に立った議会活動を基本に、創造性あふれる「北近畿の都づくり」に全力を尽くします。

今後とも叱咤激励をいただき、市民の声を市政に反映させるべく努力してまいりますので、層のご教示、ご支援をお願いいたします。

